

TOPICS

さけ稚魚放流式
ふるさとの川へ無事に帰ってきてね

4月23日

浦河町栽培漁業研究会が主催する、さけ稚魚放流式が元浦川で開かれました。

放流式には荻伏小2・3年生、野深小の1・2年生39人が参加。日高地区水産技術普及指導所の牧本浩一専門普及指導員からさけの生態などについて説明を受けた後、「必ず帰ってきてね」などと声をかけながら、1万匹の稚魚を放流しました。

第34回消費者の日
フリーマーケットなど盛況

浦河町消費生活センターと浦河消費者協会主催の「消費者の日」が総合文化会館で開かれました。

毎年恒例の新鮮野菜の即売、婦人服や子供服などのフリーマーケット20店が出店のほか、各種相談コーナーも設置。

開場と同時に大勢の主婦や家族連れなどでにぎわいました。

5月23日

4月29日

町民プールがオープン
元気いっぱい初泳ぎ

冬期間閉鎖していた町民プールがオープンしました。開館と同時に、この日を楽しみにしていた子どもたちが来場し、今年の初泳ぎを楽しみました。

早々と水着に着替えた子どもたちは、久しぶりの水の感触を感じ、もぐったり泳いだり。館内に元気いっぱいの声が響き、水しぶきが舞っていました。



戦後の浦河が物語に

続浦河百話が遂に完成

「浦河百話」の続編、「続浦河百話」が発刊され、5月25日から発売されます。

この「続浦河百話」は、平成3年に発刊した「浦河百話」の執筆に携わった人たちが、戦後、浦河に住む人々のくらしぶりや町の様子などを物語りにして出版したいと、続浦河百話編集委員会を立ち上げました。平成20年度から委員らが100話の執筆を手がけ、平成24年度で完成しました。

まちの時代の変化や人々のくらしが記録され、後世へと受け継がれる貴重な本として、町も協力し今回の発刊となりました。

「続浦河百話」は、1冊2520円(税込)。町内の「かづさや書店」「カフェぶらぶら」「坂本明生堂」「赤心社」で販売されているほか、インターネットからでも購入できます。

